

# 感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

2024年第52週 (12月23～29日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

## ●全数報告の感染症 (1～5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2024年第1週から)

疾患名	報告数	累積
<b>【1類】</b>		
(報告なし)		
<b>【2類】</b>		
結核	274	15843
<b>【3類】</b>		
コレラ		2
細菌性赤痢	1	74
腸管出血性大腸菌感染症	30	3742
腸チフス		42
パラチフス		7
<b>【4類】</b>		
E型肝炎	17	526
A型肝炎		137
エキノкокクス症		17
エムボックス <sup>1)</sup>		19
オウム病		4
回帰熱		11
Q熱		6
コクシジオイデス症		4
ジカウイルス感染症		4
重症熱性血小板減少症候群		120
ダニ媒介脳炎		2
チクングニア熱		10
つつが虫病	23	349
デング熱	3	232
日本紅斑熱		505
日本脳炎		9
ブルセラ症		5
ボツリヌス症		7
マラリア		45
ライム病		25
類鼻疽		2
レジオネラ症	39	2419
レプトスピラ症		53
<b>【5類】</b>		
アメーバ赤痢	8	514
ウイルス性肝炎 <sup>2)</sup>	2	226
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 <sup>3)</sup>	25	2277
急性弛緩性麻痺 <sup>4)</sup>	2	47
急性脳炎 <sup>5)</sup>	28	609
クリプトスポリジウム症		27
クロイツフェルト・ヤコブ病	2	169
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22	1888
後天性免疫不全症候群	17	991
ジアルジア症	2	42
侵襲性インフルエンザ菌感染症	25	644
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	66
侵襲性肺炎球菌感染症	79	2530
水痘(入院例に限る)	3	483
梅毒	201	14663
播種性クリプトкокクス症	3	189
破傷風		85
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	121
百日咳	158	4054
風しん	1	7
麻疹		45
薬剤耐性アシネトバクター感染症		6

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) E型肝炎およびA型肝炎を除く。3) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。4) 急性灰白髄炎を除く。5) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

## ●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ <sup>6)</sup>	317812	64.39
新型コロナウイルス感染症	34610	7.01
RSウイルス感染症	1272	0.41
咽頭結膜熱	1358	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7466	2.38
感染性胃腸炎	15660	5.00
水痘	840	0.27
手足口病	1692	0.54
伝染性紅斑	2643	0.84
突発性発しん	678	0.22
ヘルパンギーナ	62	0.02
流行性耳下腺炎	95	0.03
急性出血性結膜炎	32	0.05
流行性角結膜炎	619	0.89
細菌性髄膜炎 <sup>7)</sup>	12	0.03
無菌性髄膜炎	14	0.03
マイコプラズマ肺炎	647	1.35
感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>8)</sup>	14	0.03
インフルエンザ(入院患者)	5144	—
新型コロナウイルス感染症(入院患者)	2864	—

6) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。7) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。8) 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	↑	大分、鹿児島、佐賀
新型コロナウイルス感染症	↑	北海道、岩手、茨城
RSウイルス感染症	↑	北海道、大阪、奈良
咽頭結膜熱	↓	山形、富山、岩手
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	茨城、北海道、宮崎
感染性胃腸炎	↓	大分、福井、石川
手足口病	↓	山形、高知、鹿児島
伝染性紅斑	↓	青森、埼玉、東京
ヘルパンギーナ	↓	佐賀、熊本、大分
流行性耳下腺炎	↓	群馬、新潟、山梨、宮崎
マイコプラズマ肺炎	↓	青森、富山、広島

## ◆インフルエンザ

2024/25シーズンは、2024年第44週に全国的に流行開始と判断され、その後も定点当たり報告数は増加し、第52週は64.39(患者報告数31万7812)であった。これは、感染症法にもとづく現行の報告体制となった1999年以降最大であり、2018/19シーズンのピークである57.09(2019年第4週)を上回った。